

2018年2月6日
東日本旅客鉄道株式会社

コーポレートベンチャーキャピタル新会社 「JR 東日本スタートアップ株式会社」の設立について

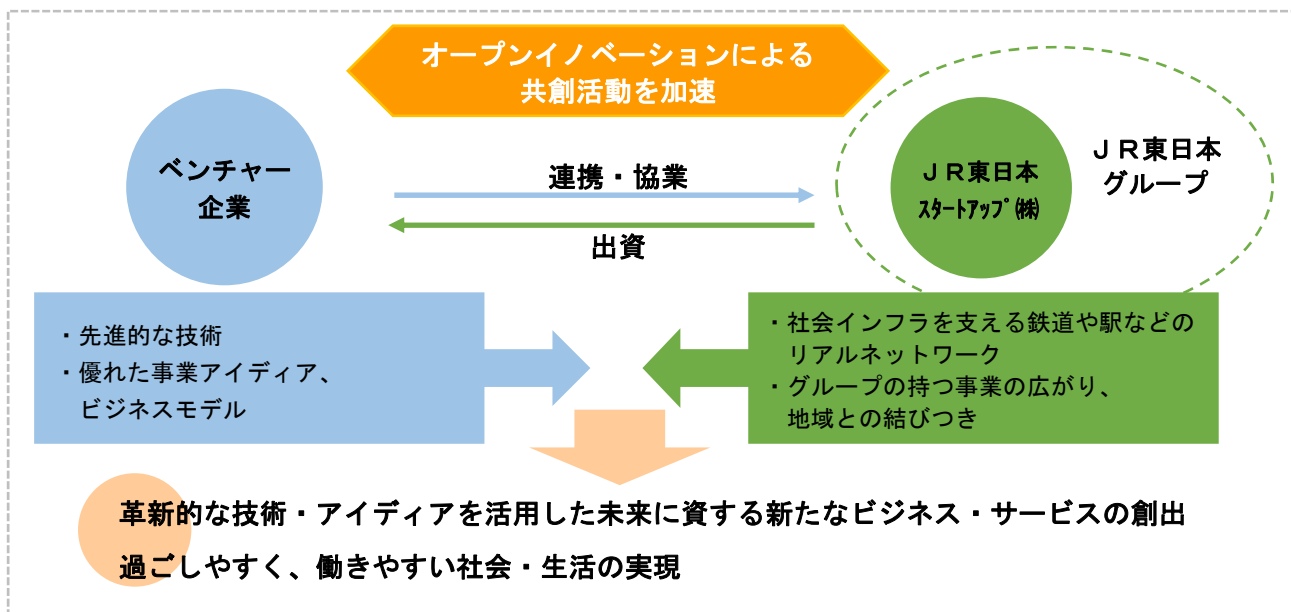
- 東日本旅客鉄道株式会社（代表取締役社長 富田哲郎）は、2018年2月、オープンイノベーションによる共創活動を加速するため、ベンチャー企業に対する出資および協業推進を行う「JR 東日本スタートアップ株式会社」を設立いたします。
- 当社は、2017年4月より「JR 東日本スタートアッププログラム※」を通じて、ベンチャー企業等との共創活動を推進してまいりました。今後、この活動をさらに積極化し、スピードアップして行ってまいります。
- JR 東日本スタートアップ株式会社は、優れたアイデアや先端技術を持つベンチャー企業とともに、JR 東日本グループの経営資源を活用して、未来をつくる新たなビジネスやサービスを創出することにより、地域のより一層の活性化と豊かな暮らしづくりに貢献してまいります。

※「JR 東日本スタートアッププログラム」…ベンチャー企業や様々なアイデアを有する方々から、駅や鉄道、グループ事業の経営資源や情報資産を活用したビジネス・サービスの提案を募り、ブラッシュアップを経て実現していくプログラム。2017年4月より募集を開始し、合計237件の提案を受領。審査の上、採択した11件についてテストマーケティングを実施しています。

1. 会社概要

会社名	JR 東日本スタートアップ株式会社
所在地	東京都渋谷区（東日本旅客鉄道株式会社本社内）
代表者	代表取締役社長 柴田 裕
株主	東日本旅客鉄道株式会社（100%）
設立	2018年2月下旬（予定）
資本金	4億95百万円
出資枠	50億円
事業内容	・ 事業シーズや先端技術の調査・発掘 ・ ベンチャー企業への出資及び当社グループとの協業推進 ・ システム開発マネジメント、ワークスペース提供等のサポート
問い合わせ先	info@jrestart.co.jp

2. 設立目的



3. 出資する事業領域

小売、飲食、交通、観光、インバウンド、物流、IoT、AI、決済や地域活性化に資する事業など当社グループとの事業シナジーを見込める領域。特に以下のテーマの実現に繋がる事業領域を想定。

[テーマ]

- (1) 人・モノ・情報をタイムリーに結び付け、利便性を高めるサービスの創出
- (2) 出発地から目的地までをスムーズにつなぐ快適な移動の創造
- (3) より安心・安全な輸送、サービス向上に資する技術革新
- (4) 魅力あるサービスの提供を通じ、国内外の多様な人々が集い楽しめる場としての駅づくり
- (5) 地域の雇用・移住・観光の促進
- (6) 環境負荷の少ないエネルギーや安全で安定した食糧の供給など社会的課題の解決



店舗等の混雑状況ワンストップ伝達サービス（イメージ）



無人店舗（イメージ）

4. 当社におけるこれまでのベンチャー出資実績（別紙）

(別紙)

ベンチャー企業への出資状況について

当社は、2017年4月より、ベンチャー企業等との協業による共創活動「JR 東日本スタートアッププログラム」を推進しており、これまでに、協業拡大に向け、2社に対して出資を行っています。

●ecbo 株式会社 (2018年2月出資)

所在地	東京都新宿区北新宿一丁目31番5号
代表者	代表取締役社長 工藤 慎一
設立	2015年6月2日
事業内容	・オンライン荷物預かり予約サービス「ecbo cloak」の運営 (https://cloak.ecbo.io) ・スマートフォンアプリの開発・運営
提携内容	2017年11月より東京駅の手荷物預かり所における手荷物預かりのオンライン予約の実証実験を推進。今後、JR 東日本グループの店舗等への預かり拠点の拡大や配送サービスの開始など、訪日外国人旅行者の「手ぶら観光」実現に向けた提携を拡大予定。



「ecbo cloak」



東京駅における実証実験

●スターフェスティバル株式会社 (2017年6月出資)

所在地	東京都渋谷区恵比寿4-20-3 恵比寿ガーデンプレイスタワー
代表者	代表取締役社長 岸田 祐介
設立	2009年7月7日
事業内容	・「ごちクル」: 弁当・ケータリングのデリバリーサイト (https://gochikuru.com/) ・「シャショクル」: デリバリー型の社員食堂サービス、他
提携内容	JR 東日本グループの株式会社紀ノ國屋や株式会社NRE大増が製造する弁当やエキナカ商品、地産品のオフィス等へのデリバリーにて連携。